

古河市地域公共交通計画の基本理念及び基本方針（案）について

1 基本理念及び基本方針（案）の策定経過

本年 8 月に実施した、各種調査、市民アンケートを受け、課題点、市民からの要望の整理、令和 5 年度第 2 回公共交通活性化会議ワーキンググループでの検討を経て、それぞれの問題や課題を解消するための古河市地域公共交通計画の基本理念及び基本方針（案）を古河市公共交通活性化会議にて協議する為の案として、提案する。

2 古河市の公共交通に関する概念

(1) 『望ましい公共交通ネットワークのあり方』を見据えて

古河市の公共交通ネットワークは、JR 東北本線、路線バス、循環バス、デマンド交通等既存の公共交通を有効に活用し、広域幹線交通、地域間交通、地域内交通、補完交通の 4 段階に機能分担を図るとともに、主要な交通結節点として、JR 古河駅を中心に、主要な病院、市庁舎、福祉の森会館などを位置付け、公共交通機関相互の接続・連携により面的なネットワークを形成することにより、地域の実情に応じた持続可能な交通ネットワークの形成、買い物や通院等の日常生活の円滑な移動ニーズに対応した運行を目指す。その実現の為に、新たな投資だけではなく、地域が持つ既存のリソースの活用最適化への調査検討を行い、利便性の追求だけではなく、環境への配慮、受益者の公平な負担の在り方も踏まえ、関係者・市民協働によるまちづくりと一体となった公共交通の構築を目指す。

■ 公共交通システムの機能分担の考え方

区 分	機能・役割	対応公共交通システム	
広域幹線交通システム	・東京都心及び周辺都市へ連絡し、市内の広域を結ぶ 広域幹線の路線	○JR 東北本線	
市内生活交通	地域間交通システム	・隣接都市への連絡及び市内の各拠点間を有機的に連絡し、広域幹線システムに接続する骨格路線	○民間路線バス
	地域内交通システム	・広域交通に接続し、地域間システムを補完 ・路線バスが運行していないエリアにおいて、市内の地区間・施設間を連絡	○循環バス ○デマンド交通
	補完交通システム	・地域間システム、地域内システムを補完 ・高齢者等の移動を支援するドア・ツー・ドアに近い機能を持つ少量個別輸送又は特定の需要を担う移動手段	○タクシー ○介護タクシー ○企業バス、医療機関バスなど
交通結節点	・上記公共交通システムの連携拠点で、駅や病院をはじめ、地域の各拠点における乗継ぎ環境機能強化を図る。	○古河駅 ○主要病院、市庁舎、福祉の森会館など ○道の駅	

(2) 基本理念及び基本方針

①基本理念 (案)

安全かつ持続可能な交通環境により、
魅力的で利便性の高い古河（まち）をつくる

※現在上位計画である第2次古河市総合計画第3期基本計画が策定中であり、変更になる可能性有。

(2) 基本方針 (案)

方針1：地域の実情に応じた持続可能な交通ネットワークの形成

- ・買物・通院等に欠かせない生活の足であるコミュニティバス及びデマンド交通の再編、運行ルールの改善を行う。
- ・地域間幹線系統の維持、利用促進と収益率（適性な運賃改定）の改善を図る。
- ・交通事業者のバス・タクシー運転手の確保・育成を支援する。
- ・EV 車輛、ユニバーサルデザインなど環境に配慮した車両の導入を検討する。
- ・古河駅周辺の拠点性を高めるため朝晩の送迎時間帯の渋滞解消、ドライバー間のトラブル減少への環境構築を促進する。

方針2：利便性の向上と利用促進の取組による地域公共交通の活性化

- ・市外への通勤・通学などの日常行動を支えるために、広域移動の機能を担うJR 東北本線と周辺市町を連絡する路線バスの利便性向上、活性化を図り、市域内外から駅や拠点施設へのアクセス性を強化することにより、利便性の高い公共交通ネットワークを構築する。
- ・路線バス・コミュニティバス及びデマンド交通等がより利用しやすい環境となるように、各種サービスの改善・導入、ユニバーサルデザインや情報提供の充実など市民誰もがわかりやすく移動しやすい地域公共交通を提供する。
- ・古河地区、総和地区、三和地区、それぞれの実情に応じた、利用しやすい公共交通ネットワークの形成を図る為、一つの交通手段に頼るのではなく、時間、目的に合わせ、複数の交通手段を組み合わせ利用しやすい環境の構築を図る。
- ・新しいデジタル技術を活用し、利便性の向上を目指す。取り残される人が出ないようにデジタルデバイド解消への取組を平行して実施する。

方針3：関係者・市民協働によるまちづくりと一体となった公共交通の構築

- ・急速に進む少子高齢化社会において重要性が増す公共交通を将来にわたり維持し続けるため、行政・地域住民・交通事業者の適正な役割分担のもと、三者が協働・連携に努める。
- ・民間が持つ、企業バス、医療送迎バスや市保有の公用車等の活用など地域が持つ交通リソースの最適可への検討を行い、地域協働による持続可能な公共交通を構築する。

古河市地域公共交通計画取組施策 優先度確認用紙

【基本方針に基づく取組施策案】

○方針1 地域の実情に応じた持続可能な交通ネットワークの形成

1. 取組案優先度

取組優先度が高いと考えられる案に最大5つ○を付けて下さい。

	取組案	優先度
1	・古河駅前広場の環境整備及び交通結節機能(地域拠点)の強化	
2	・地域間幹線系統の維持、利用促進と収益率の改善	
3	・(仮)南古河駅実現に向けた取組推進	
4	・路線バスの再編・充実	
5	・適正な運賃改定	
6	・バス・タクシーの運転手の確保・育成	
7	・EV 車両など環境に配慮した車両の導入	
8	・貨客混載の検討	
9	・ラストワンマイルへの取組	
10	・運賃収入以外の収入確保	

2. 自由記述

方針1についてご意見がありましたらご記載下さい。

3. 提案案

方針1について、ご提案がありましたらご記載下さい。

【基本方針に基づく取組施策案】

○方針2 利便性の向上と利用促進の取組による地域公共交通の活性化

1. 取組案優先度

取組優先度が高いと考えられる案に最大5つ○を付けて下さい。

	取組案	優先度
1	・コミュニティバスの再編・運行形態の見直し等	
2	・デマンド交通のサービス充実※運行ルールの見直し改善	
3	・主要施設敷地内への乗り入れ	
4	・総合的な公共交通ガイドブックの作成	
5	・バスロケーションシステムの導入拡大及びシステム利用のPR	
6	・自動車運転免許返納者への循環バス、デマンド交通の利用券の配布	
7	・市民の公共交通利用促進を高める取り組み	
8	・地図情報アプリでの情報検索	
9	・ノンステップバスの導入促進	
10	・ユニバーサルデザインのタクシー車両導入促進	
11	・古河駅のバリアフリー化、駅周辺の渋滞解消	
12	・交通系ICカードなどの電子決済の導入促進	
13	・デジタルサイネージを活用した利用促進	
14	・AI 配車システムの運用などデジタル技術の活用推進	

2. 自由記述

方針2についてご意見がありましたらご記載下さい。

3. 提案案

方針2について、ご提案がありましたらご記載下さい。

【基本方針に基づく取組施策案】

○方針3 関係者・市民協働によるまちづくりと一体となった公共交通の構築

1. 取組案優先度

取組優先度が高いと考えられる案に最大5つ○を付けて下さい。

	取組案	優先度
1	・交通結節点及び主要バス停の待合環境の整備	
2	・サイクル&バスライド、パーク&ライドの促進	
3	・外出支援のためのモデルルートの提供(乗継例など)	
4	・バスの乗り方教室の実施	
5	・バス、乗合タクシーの乗車体験会開催	
6	・福祉施策との連携(すみわけ)	
7	・地域の多様な輸送資源を活用する取組の検討(企業バス・スクールバス等)	
8	・デジタルデバイドの解消	
9	・自動運転や MaaS などの「交通 DX」将来の在り方の検討開始	
10	・ドライバー、関係者のホスピタリティ向上	
11	・シルバーサポーター制度の導入	
12	・公用車のシェアリングサービス	

2. 自由記述

方針3についてご意見がありましたらご記載下さい。

3. 提案案

方針3について、ご提案がありましたらご記載下さい。